

# 住民ワークショップの開催及び意見徴収の整理について

資料5-1

## 【住民ワークショップの開催目的】

本町の地域公共交通事業は、平成22年度より開始し、現在、平成27年度に作成した「武豊町地域公共交通網形成計画」を基に地域公共交通網の整備を行っているが、現計画が令和3年度末で終期を迎えるため、次期路線の検討を行う必要がある。

事業開始から10年以上が経過している中で、地域住民にとって本町の地域公共交通事業が浸透し、多くの住民から要望が出るようになったため、住民主体での路線網の検討をする必要があると考える。そのため、本事業開始当初より地域公共交通に関心の高い住民団体である「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会」が主催で町と連携しながら次期地域公共交通計画の策定のために路線網の検討及び計画の目標設定を行い、今後の地域公共交通網の検討を進める。

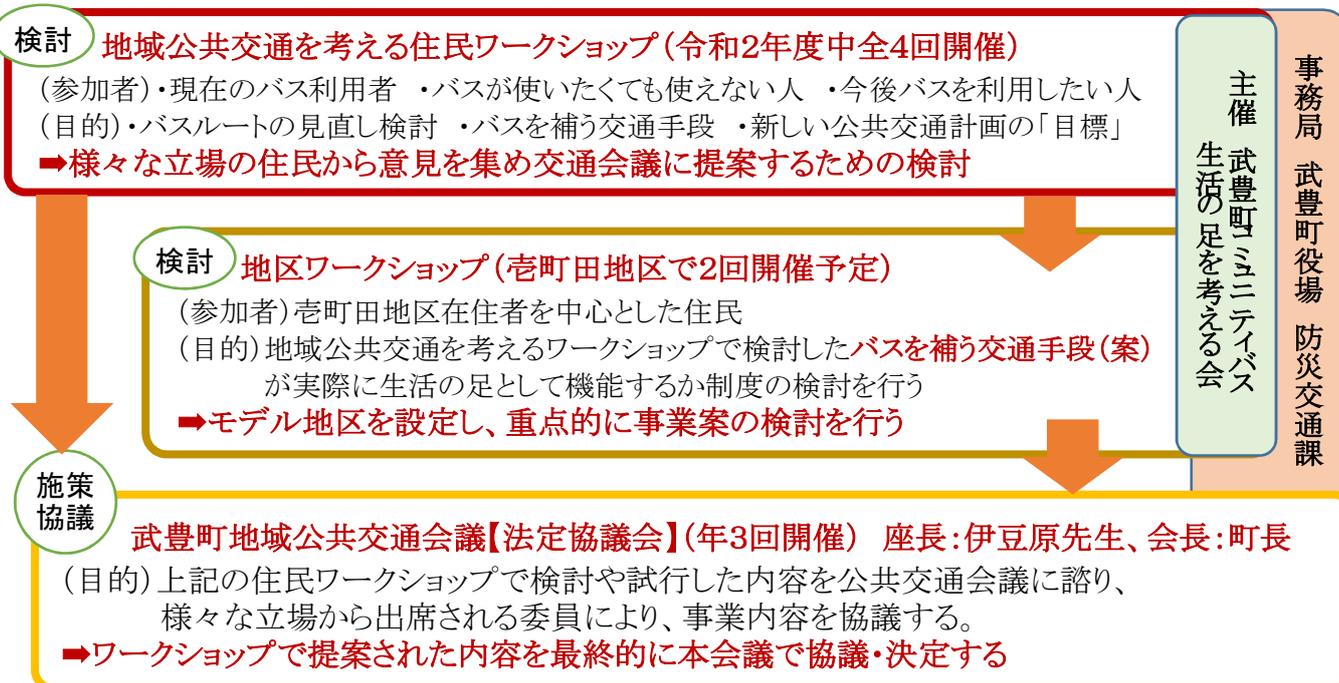
## 【開催スケジュールと検討内容】

(令和2年度中:住民ワークショップ4回・地区ワークショップ(壱町田地区)2回開催)

実施日	テーマ
R2.7.15(水)	地域公共交通の必要性を確認し、バス路線の要望を確認
R2.8.19(水)	バスを補う交通手段の検討
R2.9.16(水)	地域公共交通が住民の「生活の足」として機能するための検討
R2.11.18(水)	地区ワークショップ(壱町田地区) 接続タクシー制度の再周知と制度変更を求める意見徴収
R3.1.20(水)【予定】	地区ワークショップ(壱町田地区) 事業改善案の提案とその意見徴収
R3.2.17(水)【予定】	住民主導で行動出来ること・計画に反映することを確認

令和3年度中に2回住民ワークショップ(5月・7月)を開催予定

## 【令和2年度における役割分担イメージ】



●R02.7.15(水)「地域公共交通の必要性を確認し、バス路線の要望を確認」内容(1)

参加者:16人

	内容
講座1	武豊町の交通網整備の経緯と現在の利用状況
講座2	地域公共交通の必要性について
ワーク1	武豊町の地域公共交通のいい点・不便な点・改善点はどこですか？
ワーク2	3路線化した場合のバス路線を考えよう！

ワーク1「武豊町の地域公共交通のいい点・不便な点・改善点はどこですか？」整理

**いい点 (抜粋)**

(運賃について)  
 ・障害者は本人と付き添いが無料  
 ・料金が安い  
 ・70歳以上無料

(生活の足について)  
 ・免許返納者にとってありがたい公共交通  
 ・接続タクシー

(ルート設定について)  
 ・病院・買い物・公共施設に行くことができる  
 ・青山駅まで通つこと  
 ・バス停の間隔が適当  
 ・駅、スーパー、公共施設をうまく回っている

(ダイヤ設定について)  
 ・停留所の時刻が決まっているのでわかりやすい  
 ・定時刻にバスが来る点はわかりやすい  
 ・時刻表がわかりやすい  
 ・1周50分乗降時間が決まっているので、1時間ごと、2時間ごと利用する時便利だと思う

(車両について)  
 ・車両が目立つ  
 ・手ごろなバスの大きさを使っている

(車内環境について)  
 ・混まない  
 ・車内でコミュニケーションがとれる  
 ・車内に町の情報が分かるチラシ等が貼ってある

**【特に参加者から挙げられた「いい点」】**

- ・料金が安く、対象者は無料で乗車できる点
- ・定時刻にバスが来るダイヤが分かりやすい
- ・鉄道駅、病院、買い物、公共施設に行けるルート設定

**不便な点 (抜粋)**

(停留所位置について)  
 ・赤ルートは開発地区が増えているので、停留所変更も要検討  
 ・バス停が広範囲にほしい  
 ・昔からの地域からルートに出るのが大変  
 ・知多半島道より西を走るバスがない

(ルートについて)  
 ・往復利用が困難で片道はタクシー利用  
 ・目的地に行くのに時間がかかる  
 ・逆回りが少ないから帰りが不便  
 ・2路線では少ない  
 ・一周が短くなるとよい。もしくは逆回り  
 ・南北の道路の人は上手に利用できるが、東西路線がないのでバスが使えない。  
 この線は歯医者等が多いので通してほしい

(便数について)  
 ・便数が少ない

(下車について)  
 ・好きなどころで自由に降りれない

(待機環境について)  
 ・雨の日は濡れてしまう

(ダイヤ設定について)  
 ・お昼の1時間の空きが困る  
 (高齢者は病院を利用するので)

(運行時間について)  
 ・夜が全然利用できない  
 ・朝、夕の利用時間が早い  
 ・最終便が17時台は早すぎる

(接続タクシーについて)  
 ・タクシーが来ないこともよくある  
 ・30分前までに予約するのが面倒  
 ・接続タクシーの手配は難しそう  
 ・接続タクシーの仕組みが分かりにくい  
 ・接続タクシーを利用する方は登録が必要で登録してないと利用ができないので、至急の場合利用できない

**【特に参加者から挙げられた「不便な点」】**

- ・停留所が現状より広範囲に必要
- ・目的地に行くのに時間がかかるので、周回時間を短くしてほしい
- ・運行時間を延長してほしい
- ・接続タクシー制度がわかりにくく使いにくい

**改善点 (抜粋)**

(利用促進について)  
 ・コミュバスは環境にもやさしい、交通安全も守れる点から老人を説得する必要がある  
 ・憩いのサロン等で啓蒙する活動が必要  
 ・高齢者が自家用車に乗る人が増えていく  
 ・乗り方を教えてくれる人はいないか

(ルートについて)  
 ・短い時間で目的地に行けるようにしたら  
 ・逆回りも作ってほしい  
 ・8の字ルート検討  
 ・以前のように右回り・左回りはできるのか  
 ・もう少し狭い道にも入ることはできるか  
 ・始発バス停外から中へ  
 終着バス停中から外へ

(下車について)  
 ・好きなどころで降りしてほしい  
 ・降車時は停留所以外でも降車可能

(ダイヤ設定について)  
 ・武豊駅の電車の発着時間と合わせる  
 ・午後のスタートを13:55からにする

(増便について)  
 ・東浦町は5万人都市でバス5台で運営  
 ・本数を多くしてほしい  
 ・南北の路線の本数を増やす

(バスを補う交通手段について)  
 ・デマンド型を多く導入  
 ・登録しなくても接続タクシーを利用  
 ・接続タクシー路線を増やす

(導入車両について)  
 ・小回りの利くワンボックスの乗合車  
 ・バスを小型化し停留所を増やす  
 狭い道も行けるように

(その他について)  
 ・電子決済で支払いできる  
 ・運転手が車いす乗車の操作方法を把握しておらず乗車に時間がかかる

**【特に参加者から挙げられた「改善点」】**

- ・憩いのサロン等で乗り方を教える活動が必要
- ・短い時間で目的地に行けるルートの見直し
- ・バス路線を増やしてほしい
- ・接続タクシー制度を使いやすくしてほしい
- ・バス路線のない場所への交通手段の確保

●R02.7.15(水)「地域公共交通の必要性を確認し、バス路線の要望を確認」内容(2)

ワーク2「3路線化した場合のバス路線を考えよう！」参加者から出た意見を整理し、3パターンに分類

パターン1 既存ルートの中を走るルートの新設



**(例)**

**メリット**

- ・近くにバス停留所がない人の交通手段の確保ができる
- ・既存のルートのままにすることで現在の利用者の混乱を招かない
- ・一部区間において逆回りのコース設定をすることができる

例) 行きは赤ルート、帰りは新ルート利用により逆回りで使うことができる

**デメリット**

- ・現在のコースの外側の住者にはメリットがない
- ・比較的道が狭い道路が多い  
※導入車両を小型化する必要がある？

パターン2 既存ルートの外を走るルートの新設



**(例)**

**メリット**

- ・近くにバス停留所がない人の交通手段の確保ができる
- ・既存のルートのままにすることで現在の利用者の混乱を招かない

**デメリット**

- ・居住者が少ないエリアの運行のため目的地となる場所に設定できない
- ・広範囲に渡るためコース設定が困難  
また、周回時間が長くなる
- ・すべての居住者に対しカバーできるわけではないので、不公平感が出る

パターン3 既存を再編し・北部・中部・南部の3ルート化



**(例)**

**メリット**

- ・既存ルートの内側の住者に対する停留所の設定ができる

**デメリット**

- ・既存のルートを再編するため現在の利用者に混乱を招く  
\*イオン半田店等に行けなくなる人が出てくる
- ・乗継の必要性が多くなるため、面倒と感じる人が多くなる

8月開催住民ワークショップにおいて、整理した内容を参加者に提示し、各路線への投票を行う

●R02.8.19(水)「バスを補う交通手段の検討」内容

参加者:15人

	内容
前回の振り返り	前回ワーク1で回答して頂いた意見を整理して紹介
講座	バスルートの設計時の留意点
ワーク1	事務局で整理した前回ワーク2の3路線案に対する意見交換と3路線案への投票
講座	タクシーを活用した先行事例
ワーク2	バス3路線とバスを補う交通手段を考えよう！

ワーク1投票結果（投票方法:1人3ポイントでいいと思う案に投票）

ルート案	①既存のルートの中を走るルート	②既存のルートの外を走るルート	③既存を再編し北部・中部・南部の3ルート
票数	21	4	17

票数が一番多いところに決定するわけではありません。頂いたご意見を受けて、事務局と生活の足を考える会で検討します。

既存のルートの外を走るルートへの要望は少ないため、バスを補う交通手段の検討が必要

ワーク2 バスを補う交通手段に関する整理

講座「タクシーを活用した先行事例」の紹介を受けて、どの事例がいいのかとその理由の回答を整理

番号	投票数	投票理由
1	3	現状の接続タクシーのルート・停留所の見直し ・わかりやすい
2	1	可児市タイプ(自由経路ミーティングポイント型) ・デマンド交通、相乗タクシーなども含めて利用も必要
3	8	富士市タイプ(自由経路ドアツードア型・固定ダイヤ) ・相乗タクシーが利用者的には便利が良いと思うが、高額でバス利用者より有利に思える「おかタク」がよいと思います ・ドアツードアが理想的 ・自宅まで来てくれるため、歩行に自信のない人も利用できる。雨の心配もいらない ・エリア設定してあるのでコミュニティバスの空白エリアの利用に適している ・ドアまで来てもらえるとう年寄りも助かる ・高齢者には便利と思う(ドアツードア型)
4	2	相乗りタクシー制度 ・4がいいと思うが、高齢者にはスマホがハードルが高い！補えるものがあれば ・ドアからドアが可能料金の割安化がポイント、複数利用者がいるときの目的地までの所要時間、利用者が複数にならないときの料金
5	3	タクシーチケットの配布 ・高齢者にわかりやすい ・他よりシンプルで使いやすい。お得感がある。安くなれば免許返納してもよいかなど考える人が増えるのでは

(投票理由のポイントの整理) ・自宅まで迎えに来てほしい ・わかりやすく使いやすいことが大事

●R02.9.16(水)「地域公共交通が住民の「生活の足」として機能するための検討」内容

参加者:14人

	内容
町の方向性と振り返り	町の公共交通事業の方向性に関する報告
講座	地域公共交通を行政と住民が協働して計画・維持する理由
ワーク1(グループ)	地域公共交通を生活の足として定着させるためには？
ワーク2(個人)	「議論がまだ足りていないこと」・「交通会議で議論すべきこと」の議論

ワーク1・ワーク2で出た意見の抜粋

**【地域住民ができること】**

- ・友達を誘って一緒にバスやタクシーに乗る
- ・憩いのサロンや老人クラブなど高齢者が集まる場所で説明する
- ・バスの要望事項に関するアンケート等を自主的に行い、町に提出する
- ・接続タクシーにみんなで乗ってみる機会をつくる
- ・バスの中で楽しめるイベントなどを作る

**【行政が分担すること】**

- ・タクシーの停留所を増やしてほしい
- ・登録カードにタクシーの電話番号を記入してほしい
- ・時刻表を広報や回覧板等を活用して何度も配ってほしい
- ・始発終発を役場にしているが、遠い場所を始発・終発にすべき
- ・運転免許返納者はタクシーを家まで送迎などの特典を
- ・議員や職員がバスに乗る→体験意見を提出させる

**【議論が足りていないこと】**

(バスを補う交通手段について)

- ・バスルートから外れている地域の交通手段の確保
- ・バスルートから遠い人が多く、運転免許証返納後の不安が多い
- ・接続タクシーの利便性
- ・バス以外の移動手段、方法について

(バスルートについて)

- ・3路線化の具体案
- ・バスのコース設定、タクシーとのつながりバス停

(利用促進策について)

- ・各地区、地域でバスや接続タクシーの乗り方のイベント等の企画
- ・イベントがあったときはお楽しみプレゼント

●R02.11.18(水)「接続タクシー制度の再周知と制度変更を求める意見徴収」内容  
 ※地区ワークショップ(吉町田地区) 参加者:9人

	内容
講座	武豊町の公共交通の現状と「接続タクシー制度」の説明
ワーク1	「接続タクシーの利用が伸びない理由」の意見徴収 まだ利用されていない方は利用されていない理由を教えてください
講座	バスを補う交通手段の必要性と他の事例紹介 事例紹介をした際のワークショップにおける結果報告
ワーク2(個人)	運転が困難になったときにどんな移動手段を検討しますか？ 公共交通サービスに求めるポイントを教えてください。

意見徴収の整理

(接続タクシー事業に関する認知度調査)

接続タクシー事業の認知 9人中7人認知  
 登録状況 9人中5人登録  
 定期的な利用者 9人中1人

(接続タクシー事業の事業変更案について)

家までの送迎であれば余分にお金を払ってでも使いたい

(自宅への送迎に関する要望)

買い物の帰りなど荷物が多いときはタクシー停留所から自宅まで歩くのが大変

(タクシー事業者の対応について)

実際利用していたが、予約をしてもタクシーが来なかったことがあり、利用しなくなった

(接続タクシーの利用方法に関する問い合わせ)

乗合タクシー事業のときは停留所に時間が書いてあったが、いまは時間の記載がないため、どのように使えばいいのかがわからないので、わかりやすい周知が必要

(運転免許証の自主返納について)

自主返納後の通院や買い物に不安がある  
 バスやタクシーについて考えたことがなかったが、利用方法について考えないといけない